

# AIとラベル印刷で人流が多い職場での 検温結果の見える化と受付業務効率化



不特定多数が集まる場での入場者の安全維持が心配

スタッフによる検温や検温結果の記録に受付業務工数が取られている

入場者が実際に入場時に検温を行い体温に異常がないかがわからない



AI搭載型の検温器とカラーラベルプリンターの組み合わせにより、検温した結果に加え、日時と顔写真を入館証や参加証としてラベルに印刷して衣服に貼り付けることで入場記録の見える化と受付業務工数削減を同時に実現します。

## 特長/概要

【共創パートナー】  ダイワコンピューテック株式会社

- 検温結果・日時・顔写真を検温後即時でカラーラベルに印刷
- ラベルを衣服に貼る事で健康状態の周知可能
- 検温から約9秒でラベル印刷が可能
- カラー印刷により、文字の色や背景色を変更し一目で識別可能
- 顔写真入りカラーラベルで本人確認可能
- 簡単に消耗品交換可能な高メンテナンス性プリンター



## 利用シーン

多数の人の往来や一定時間の滞在が発生する医療機関や、イベント・セミナー会場などへの提供を目指しています。



病院



展示会場



オフィス



工場

## ■ お問い合わせ

沖電気工業株式会社  
コンポーネントプロダクツ事業部  
情報機器統括部

<https://www.oki.com/jp/>

## ■ 参考動画・資料

【OKI 動画ライブラリー】  
AIとラベル印刷で人流が多い職場でのコロナ感染リスクをしっかりとガード  
<https://www.youtube.com/watch?v=-DYE0mJu-Gg>

【検温ラベルソリューション導入事例紹介サイト】  
<https://www.oki.com/jp/press/2023/04/z23003.html>

